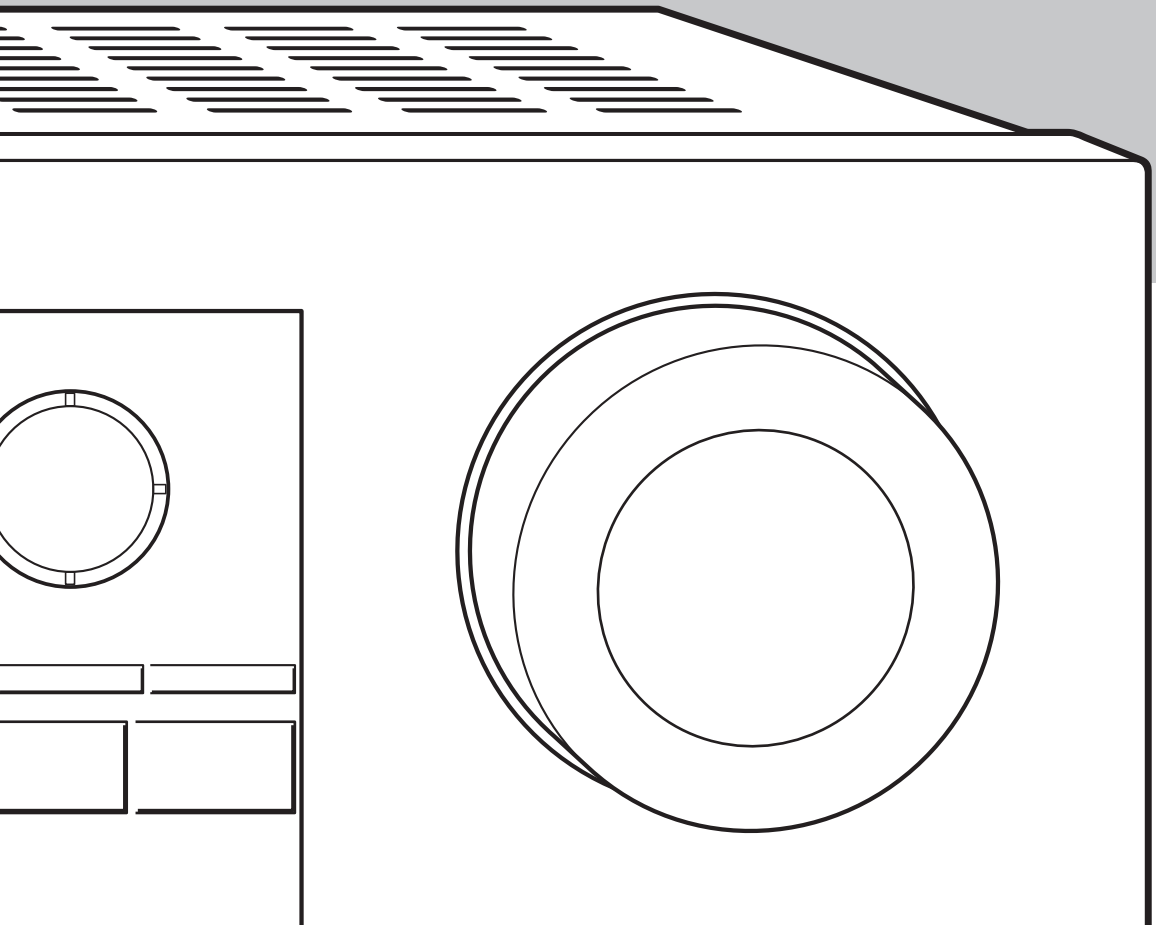
ONKYO

TX-SR343

AVレシーバー

基本操作マニュアル



本書には、スタートアップに必要な内容や、使用頻度が高い機能の操作について掲載されています。
また、エコロジーの観点から、応用的な設定や機能、詳細な情報についてはWEB詳細ガイドとして電子マニュアルをWEB上で公開しています。

WEB詳細ガイドは
こちらから

http://www.onkyo.com/manual/txsr343/adv/ja.html

Ja

特長

- 5チャンネルアンプを搭載
- 4Kに対応したHDMI入出力端子を装備 (4K、1080pの映像を再生する場合は、ハイスピードHDMIケーブルまたはハイスピードHDMI with Ethernet ケーブルをご使用ください)
- スタンバイ状態のときも再生機器の信号をテレビに伝送できるHDMIスタンバイスルー機能
- 高品位なコンテンツを楽しむためのより強固な著作権保護技術 HDCP2.2に対応
- ARC(Audio Return Channel)に対応
- Bluetooth®機能に対応
- 音声と映像のズレを補正する、A/Vシンク機能
- 極めて高い演算能力を持つ、32 bit DSP(Digital Signal Processor)搭載
- 圧縮された音楽ファイルを、より良い音で楽しむMusic Optimizer™機能搭載
- Phase Matching Bassシステム搭載

付属品については裏表紙をご覧ください。

目次

基本操作マニュアル (本書)

前面パネル 3
後面パネル 4

Step 1: 接続する 5
1 テレビや再生機器を接続する 5
- テレビとの接続 5
- HDMI端子を持つ再生機器との接続 6
- HDMI端子を持たない再生機器との接続 6

2 AM/FMアンテナを接続する 6
3 スピーカーを接続する 7
- 接続について 8

4 電源コードを接続する 8

Step 2: 設定する 9
1 電源を入れる 9
2 スピーカーセットアップ 9
- スピーカー構成を変更する 9
- スピーカーの距離を設定する 9
- スピーカーの音量レベルを調整する 10

3 HDMI設定 10
- HDMI CEC (RIHD) 10
- HDMIスタンバイスルー 10
- ARC(Audio Return Channel) 10

Step 3: 再生する 11
1 基本操作 11
- リモコンの各部の名称とはたらき 11
- 表示部 12

2 Bluetooth® 12
3 AM/FM放送 12
4 Quick Setupメニュー 13
5 その他の便利な機能 14

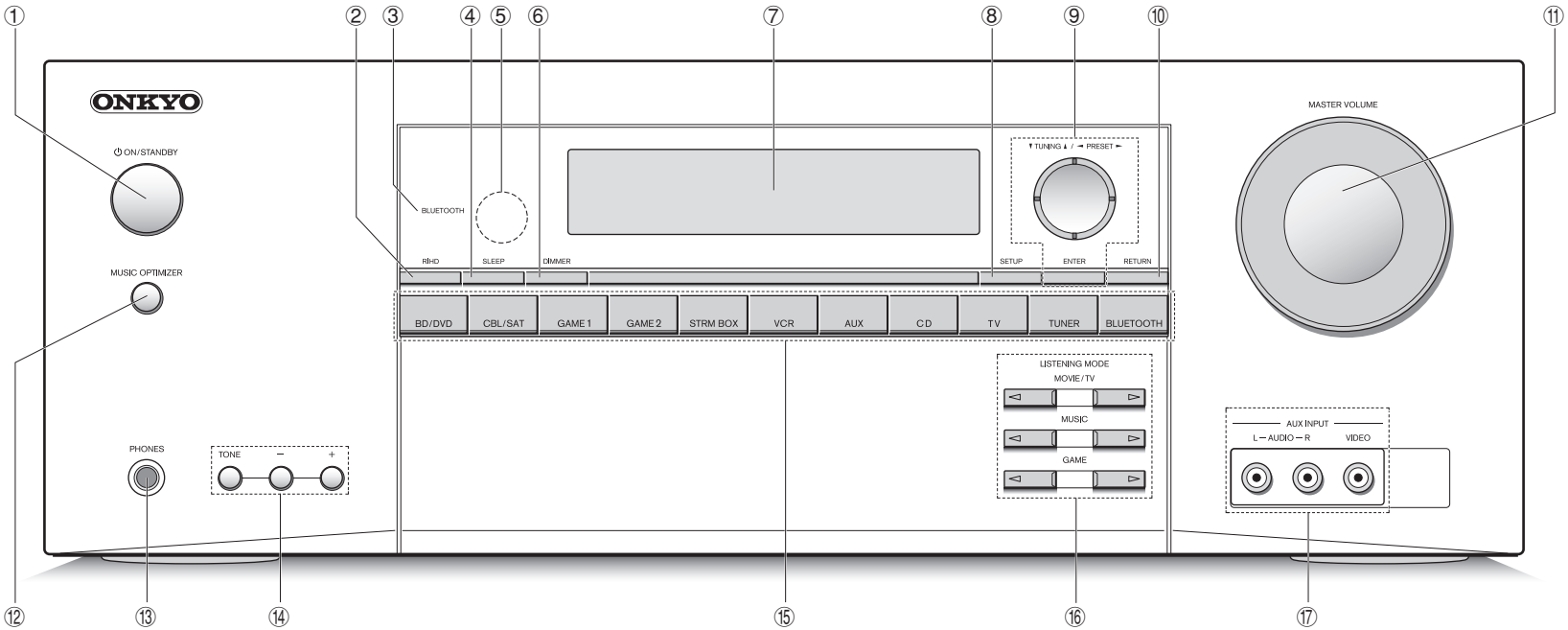
困ったときは 15
主な仕様 16
解像度一覧 17
HDMI対応解像度 17
付属品 ..... 裏表紙

WEB詳細ガイド

応用的な設定や機能、詳細な情報についてはWEB詳細ガイドとして電子マニュアルをWEB上で公開しています。
WEB詳細ガイドは、PCはもちろんスマートフォンでも読みやすいレイアウトでご覧いただけます。WEB詳細ガイドの掲載内容は以下の通りです。

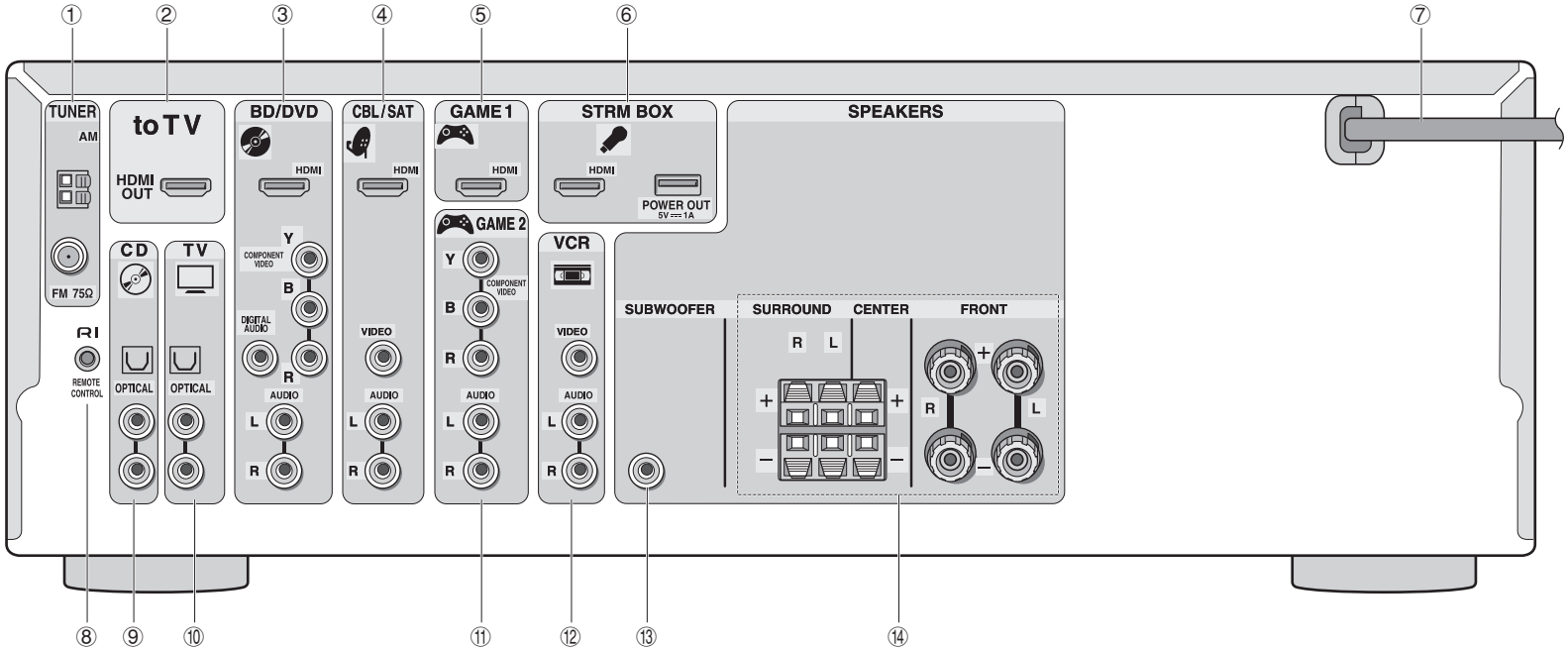
- AM/FM放送受信の詳細
- 音楽ファイルをリモコンで操作する
- リスニングモードの詳細
- 応用的な設定
- リモコンで他の製品を操作する
- RI端子付きオンキヨー製品との接続・操作
- 困ったときは
- 参考情報

WEB詳細ガイドはこちらから
http://www.onkyo.com/manual/txsr343/adv/ja.html



前面パネル

① **⏻ON/STANDBYボタン**：電源のオン/スタンバイを切り換えます。
② **RIHDボタン**：HDMI連動機能のオン/オフを切り換えます。
③ **BLUETOOTHインジケーター**：Bluetooth対応機器とペアリング中は点滅し、ペアリングが完了すると点灯します。
④ **SLEEPボタン**：指定した時間が経過したら、本機を自動的にスタンバイ状態にする設定を行います。
⑤ **リモコン受光部**：リモコンからの信号を受信します。
⑥ **DIMMERボタン**：表示部の明るさを切り換えます。
⑦ **表示部**：詳細については12ページをご覧ください。
⑧ **SETUPボタン**：各種設定を行うときに使います。
⑨ **カーソル、▼TUNING▲、◄PRESET►、ENTERボタン**：カーソルの移動や確定に使用します。また、AM/FM放送を聴くときに▼TUNING▲ボタンで周波数を選び、◄PRESET►ボタンで登録した放送局を選びます。
⑩ **RETURNボタン**：設定中にひとつ前の表示に戻します。
⑪ **MASTER VOLUME**：音量を調整します。
⑫ **MUSIC OPTIMIZERボタン**：圧縮された音声をより良い音質にするミュージックオプティマイザーをオン/オフします。
⑬ **PHONES端子**：標準プラグのステレオヘッドホンを接続します。
⑭ **TONE、トーンレベルボタン**：高音、低音を調整します。
⑮ **入力切換ボタン**：再生する入力を切り換えます。
⑯ **LISTENING MODEボタン**：リスニングモードを選びます。
⑰ **AUX INPUT AUDIO/VIDEO端子**：ビデオカメラなどを接続します。



後面パネル

① **TUNER AM/FM(75Ω)端子**：付属のアンテナを接続します。

② **to TV端子**：HDMIケーブルを使用してテレビと接続します。テレビの音声を聴く場合は、入力切換を「TV」にします。

＊ テレビがARC機能に対応していない場合は、この接続に加えて⑩の接続が必要です。

③ **BD/DVD端子**：ブルーレイディスクプレーヤーやDVDプレーヤーとHDMIケーブルなどを使用して接続します。入力切換ボタンの「BD/DVD」に対応しています。

④ **CBL/SAT端子**：ケーブルテレビ用チューナーとHDMIケーブルなどを使用して接続します。入力切換ボタンの「CBL/SAT」に対応しています。

⑤ **GAME 1端子**：ゲーム機とHDMIケーブルを使用して接続します。入力切換ボタンの「GAME 1」に対応しています。

⑥ **STRM BOX端子**：ストリーミングボックスと接続します。電源供給が必要な場合は、POWER OUT端子を使用してUSBケーブルで接続します。入力切換ボタンの「STRM BOX」に対応しています。

⑦ **電源コード**

⑧ **RI REMOTE CONTROL端子**：RI端子付きオンキヨー製品と接続し、連動させる端子です。

⑨ **CD端子**：CDプレーヤーなどのオーディオ機器と光デジタルケーブルなどを使用して接続します。入力切換ボタンの「CD」に対応しています。

⑩ **TV端子**：テレビがARC機能に対応していない場合は、②の接続に加えて、この端子とテレビの音声出力端子を接続します。入力切換ボタンの「TV」に対応しています。

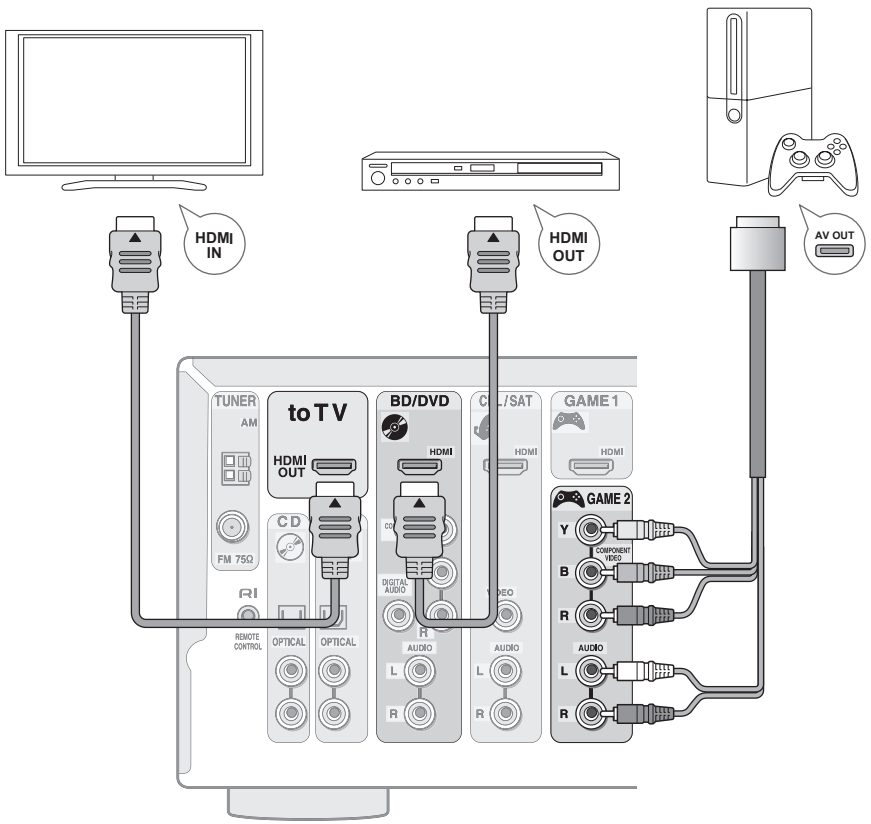
⑪ **GAME 2端子**：コンポーネントビデオ端子を持つゲーム機と接続します。入力切換ボタンの「GAME 2」に対応しています。

⑫ **VCR端子**：ビデオデッキと接続します。入力切換ボタンの「VCR」に対応しています。

⑬ **SUBWOOFER端子**：アンプ内蔵サブウーファーを接続します。

⑭ **SPEAKERS端子**：スピーカーを接続します。最大5chのスピーカー接続が可能です。

Step 1: 接続する



接続の例

1 テレビや再生機器を接続する

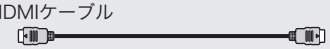
はじめに

- 本機はテレビと再生機器の間に接続します。
- 再生するソースを選ぶには、接続した端子名と同じ名称の入力切換ボタンを選びます。本機とCEC(Consumer Electronics Control)規格に準拠している機器をHDMIケーブルで接続している場合は、入力が自動で切り換わります。(＊)
- 本機の電源がスタンバイ状態になっているときでも再生機器の映像/音声信号をテレビに伝送することができます。(HDMIスタンバイスルー機能)(＊)
- 電源コードはすべての接続が終了してから接続してください。

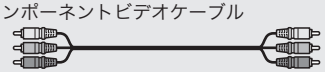
＊ この機能を有効にするには設定が必要です。「Step 2: 設定する」の「3 HDMI設定」をご覧ください。

接続に使用するケーブル(別売)

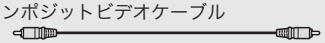
HDMIケーブル



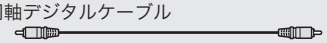
コンポーネントビデオケーブル



コンポジットビデオケーブル

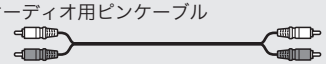


同軸デジタルケーブル



光デジタルケーブル

オーディオ用ピンケーブル



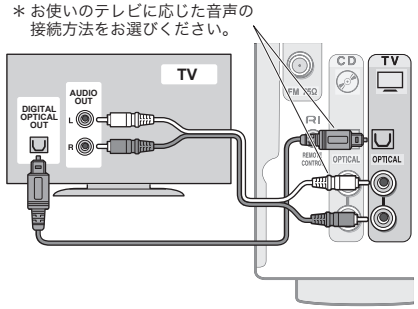
テレビとの接続

「to TV」端子とテレビのHDMI入力端子をHDMIケーブルで接続します。テレビがARC機能(＊)に対応している場合は、この接続だけで完了です。テレビがARC機能に対応していない場合は、「to TV」端子の接続に加えて、「TV」端子とテレビの音声出力端子を光デジタルケーブルまたはオーディオ用ピンケーブルで接続します。

＊ 本機とテレビを1本のHDMIケーブルで接続するだけでテレビの音声信号を本機のスピーカーで再生することができる機能です。ARC機能を使用する場合は、テレビのARC対応HDMI端子との接続および本機側の設定が必要です。「Step 2: 設定する」の「3 HDMI設定」をご覧ください。

● テレビがARC機能に対応していない場合の音声接続

＊ お使いのテレビに応じた音声の接続方法をお選びください。



HDMI端子を持つ再生機器との接続

「BD/DVD」、「CBL/SAT」、「GAME 1」、「STRM BOX」の端子を使用してHDMIケーブルで接続します。ブルーレイディスクプレーヤーは「BD/DVD」に接続するなど、接続する機器と同じ名称の端子に接続すれば入力切換の際に便利です。ストリーミングボックスは「STRM BOX」の端子に接続します。電源供給が必要な場合は、POWER OUT端子を使用してUSBケーブルで接続します。(＊)

＊ POWER OUT端子は5V/1Aの電源供給に対応しています。

HDMI端子を持たない再生機器との接続

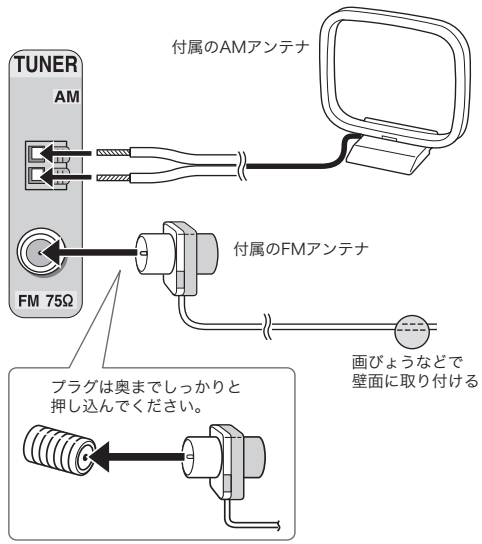
映像出力端子のある機器とは、「BD/DVD」、「CBL/SAT」、「GAME 2」、「VCR」の端子に接続します。映像信号はコンポーネントビデオケーブルまたはコンポジットビデオケーブルで、音声信号は同軸デジタルケーブルまたはオーディオ用ピンケーブルで接続します。

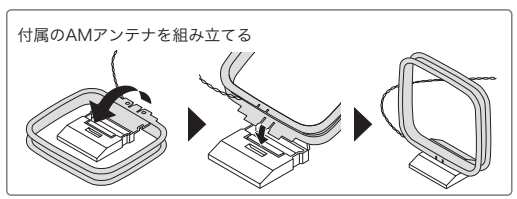
CDプレーヤーなどのオーディオ機器とは、「CD」の端子を使用して、光デジタルケーブルまたはオーディオ用ピンケーブルで接続します。

- コンポーネントビデオ入力およびコンポジットビデオ入力された映像信号はHDMI信号にアップコンバートされて、「to TV」端子から出力されます。コンポーネントビデオ入力された映像信号をアップコンバートしてHDMI出力端子から出力する場合、再生機器の出力解像度を480iに設定してください。480p以上の解像度で入力があった場合は、解像度設定の変更を促すメッセージが表示されます。再生機器が480iで出力できない場合は、コンポジットビデオ端子をご使用ください。
- ドルビーデジタルなどのデジタルサラウンド再生を楽しむためには同軸デジタルケーブルまたは光デジタルケーブルの接続が必要です。また、本機の光デジタル入力端子は、とびらタイプです。とびらを奥へ倒すようにしてケーブルを挿しこんでください。

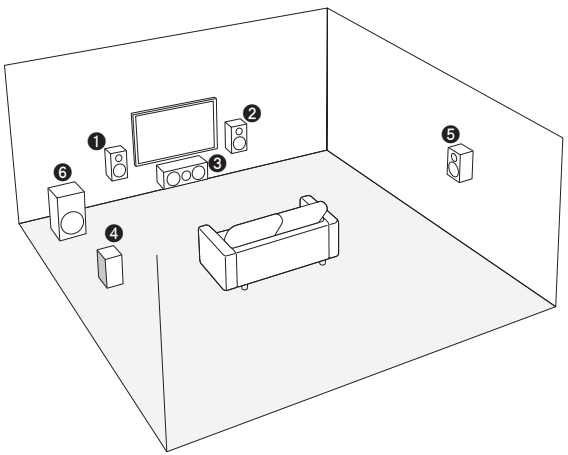
2 AM/FM アンテナを接続する

AM/FM放送を聴く場合は、必ずアンテナを接続してください。初めて放送を聴くときに、放送を聴きながら受信状態が良好になるようアンテナの位置を変えたり向きを調整してください。





3 スピーカーを接続する

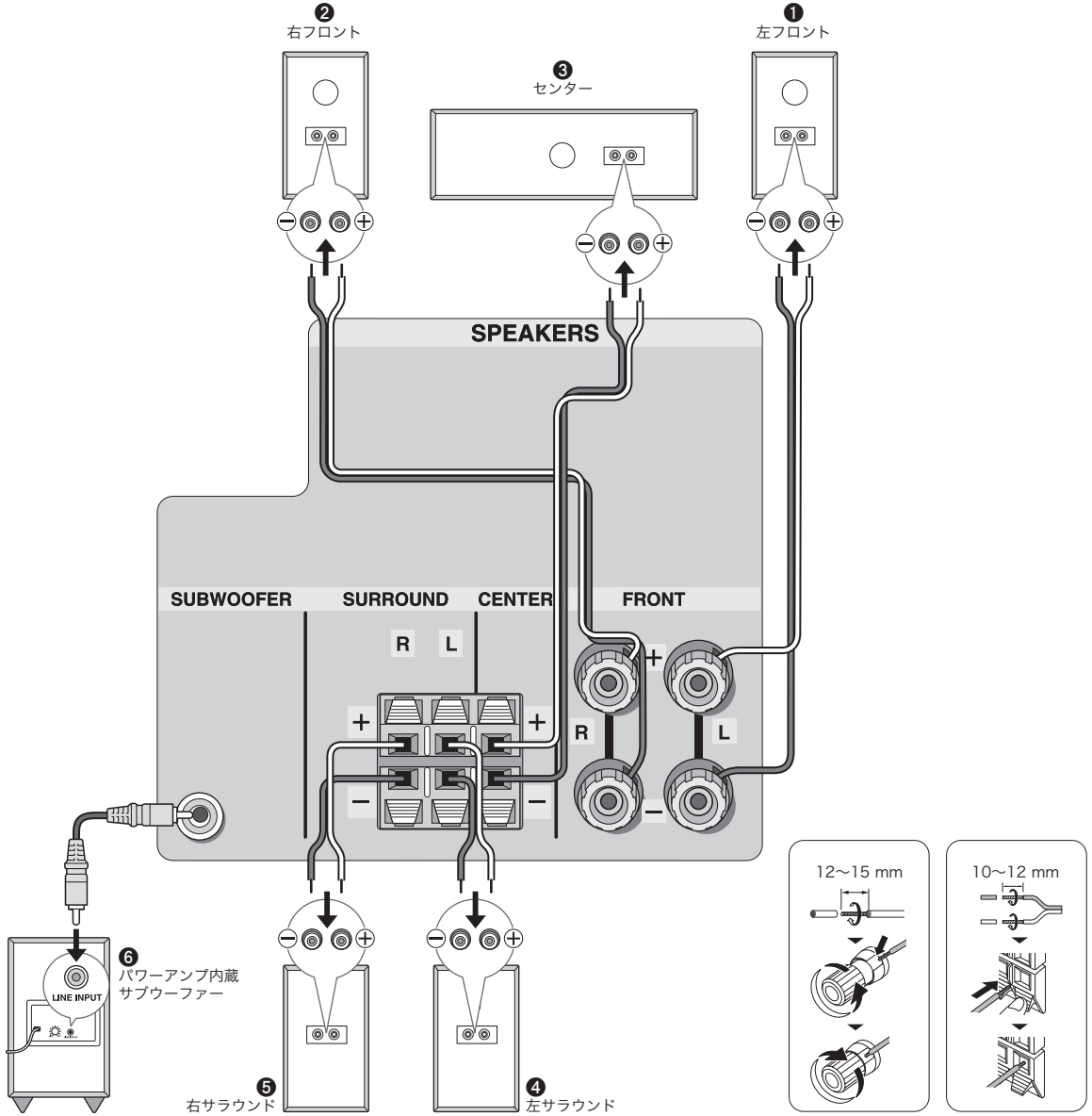


❶❷ フロントスピーカー
❸ センタースピーカー
❹❺ サラウンドスピーカー
❻ サブウーファー

重要:
インピーダンスが6～16 Ωのスピーカーを接続してください。対応よりも低いインピーダンスのスピーカーをお使いの場合、故障の原因になることがあります。

各スピーカーの役割

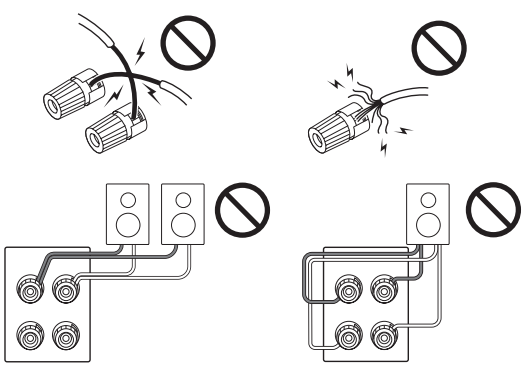
❶❷は前方のステレオ音声を、❸はセリフやボーカルなど画面中央の音声を出力します。❹❺は後方音場を創出します。❻は重低音を再生し、音場の密度感を高めます。



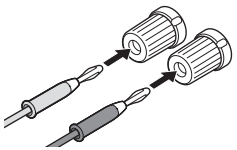
接続について

スピーカーコードは先端のビニールを切り取って芯線をよじって端子に接続してください。その際に、本機の端子のプラス(+)側とスピーカーの端子のプラス(+)側を、マイナス(−)側はマイナス(−)側とを、チャンネルごとに必ず合わせて接続してください。間違って接続すると、位相が逆になり低音が出にくくなります。サブウーファー端子には、パワーアンプ内蔵サブウーファーが接続できます。サブウーファーのカットオフフィルター切換スイッチはDIRECTにしてください。カットオフフィルター切換スイッチがなく、カットオフ周波数調整ツマミがある場合は、周波数を最大にしてください。ご使用のサブウーファーにアンプが内蔵されていない場合は、間にパワーアンプを接続してご使用ください。

- お買い上げ時は、5.1ch接続の設定になっています。5.1ch以外の接続を行う場合は、設定を変更してください。
- プラス(+)のコードとマイナス(−)のコードをショートさせたり、コードの芯線を本機の後面パネルと接触させると故障の原因になります。また1つのスピーカー端子に2本以上のコードを接続したり、1台のスピーカーを複数の端子に接続しないでください。



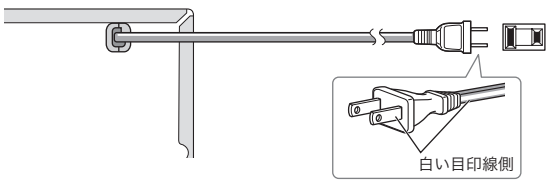
市販のバナナプラグをご使用の場合は：スピーカー端子をしっかり締めてから、バナナプラグを挿入してください。スピーカーコードの芯線を、スピーカー端子のバナナプラグ用の穴に直接挿入して接続しないでください。



4 電源コードを接続する

重要：電源コードはすべての接続が終了してから接続してください。

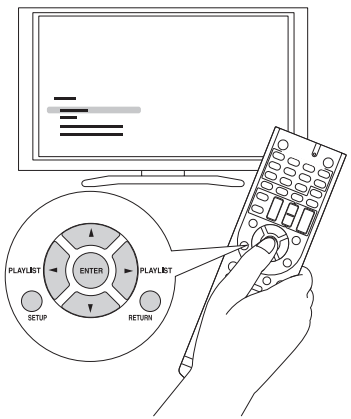
音質向上のため、電源の極性を合わせます。電源コードの白い目印線側の電源プラグを、コンセントの溝の長い方に合わせて差し込んでください。コンセントの溝の長さが同じ場合は、どちらを接続しても構いません。



- 電源コードをコンセントから抜くときは、本機をスタンバイ状態にしてから抜いてください。
- 本機の電源を入れると、瞬間的に大きな電流が流れて、コンピューターなどの機器の動作に影響することがあります。コンピューターなど、繊細な機器とは別系統のコンセントに接続することをおすすめします。

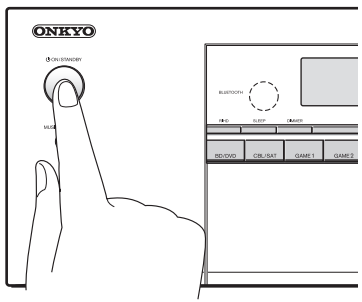
Step 2: 設定する

●設定操作は：本機のリモコンを使用してテレビ画面に表示される操作画面で操作を行います。操作画面を表示するためにはテレビとHDMI接続することが必要です。リモコンのカーソルで内容を選び、ENTERボタンで決定します。ひとつ前の画面に戻るにはRETURNボタンを押します。



1 電源を入れる

電源のオン/スタンバイは、本体の⏻ON/STANDBYボタンまたはリモコンの⏻RECEIVERボタンを押します。



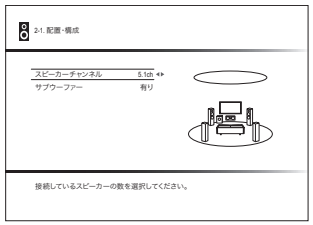
2 スピーカーセットアップ

本機は、初期設定では5.1chのスピーカー構成で音声を出力する設定がされています。センタースピーカーやサラウンドスピーカー、サブウーファーを接続せずに本機を使用するなど、初期設定と異なる環境で本機をご使用の場合は、次の各項目を参照して、それぞれの設定を変更してください。

- ご使用中のスピーカー構成と設定内容が違う場合、音声が正しく再生されないことがあります。ご使用中のスピーカー構成をご確認の上、正しく設定してください。
- ヘッドホンを接続しているときやテレビのスピーカーから音声を出力しているときは、これらの設定を変更できません。

スピーカー構成を変更する

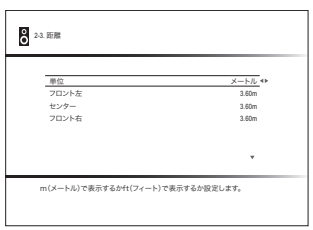
1. リモコンのRECEIVERボタンを押したあとに、SETUPボタンを押す
2. カーソルで「2. スピーカー」を選び、ENTERボタンを押す
3. カーソルで「配置・構成」を選び、ENTERボタンを押す



接続しているスピーカーのチャンネル数やサブウーファーの有無をカーソル◄/►で設定してください。
設定が終了したら、SETUPボタンを押してメニュー画面を閉じてください。

スピーカーの距離を設定する

1. リモコンのRECEIVERボタンを押したあとに、SETUPボタンを押す
2. カーソルで「2. スピーカー」を選び、ENTERボタンを押す
3. カーソルで「距離」を選び、ENTERボタンを押す

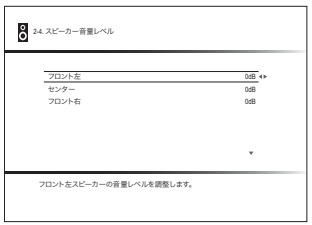


カーソル◄/►で視聴位置から各スピーカーまでの距離を設定します。設定が終了したら、SETUPボタンを押してメニュー画面を閉じてください。

- 「配置・構成」の設定によっては各設定項目を選択できません。

スピーカーの音量レベルを調整する

1. リモコンのRECEIVERボタンを押したあとに、SETUPボタンを押す
2. カーソルで「2. スピーカー」を選び、ENTERボタンを押す
3. カーソルで「スピーカー音量レベル」を選び、ENTERボタンを押す



カーソル◄/►で各スピーカーの音量レベルを変更します。音量レベルの数値を変えるたびにテスト音が出力されますので、お好みの音量レベルを選択してください。設定が終了したら、SETUPボタンを押してメニュー画面を閉じてください。

- ミュート（消音）が設定されている場合、この設定を変更できません。
- 「配置・構成」の設定によっては各設定項目を選択できません。

各スピーカーのサイズやクロスオーバー周波数、ダブルバスの設定を変更する場合は、「2. スピーカー」-「クロスオーバー」で行えます。

3 HDMI 設定

本機はCEC（Consumer Electronics Control）に対応したテレビや再生機器とのHDMI接続で、電源連動などの連動動作が働きます。この機能や、HDMIスタンバイスルー機能、ARC（Audio Return Channel）機能をご使用になるには、初期設定の変更が必要です。

HDMI CEC (RIHD)

CECの機能を有効にすると、接続機器と以下のような連動動作が可能です。

- テレビの電源をスタンバイにすると、本機も連動してスタンバイになります。
- テレビ側の操作で、本機に接続したスピーカーから音を出すか、テレビのスピーカーから音を出すか切り換えることができます。
- CECに対応したプレーヤー/レコーダーを再生すると、本機の入力がその機器の接続されているHDMI入力に自動で切り換わります。また、本機がスタンバイ状態のときは、自動で電源が入ります。

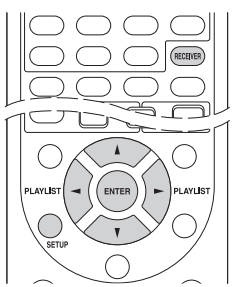
1. 本体のRIHDボタンを押す

押すごとにCEC連動機能のオン/オフを切り換えることができます。

＊ RIHDはCECを使用したオンキヨー製品の連動機能の名称です。

また、以下の方法でも切り換えることができます。

1. リモコンのRECEIVERボタンを押したあとに、SETUPボタンを押す



2. カーソルで「5. ハードウェア」を選び、ENTERボタンを押す
3. カーソルで「HDMI」を選び、ENTERボタンを押す
4. カーソルで「HDMI CEC (RIHD)」を選び、「オン」を選ぶ

設定が終了したら、SETUPボタンを押してメニュー画面を閉じてください。

- 接続したCEC対応機器を本機のリモコンで操作することもできます。詳しくはWEB詳細ガイドでご覧いただけます。

HDMIスタンバイスルー

本機の電源がスタンバイ状態になっているときも再生機器の映像/音声信号をテレビに伝送できる機能です。先のHDMI CEC (RIHD)設定を「オン」にすれば、この設定が自動的に有効になります。

- HDMIスタンバイスルー機能が有効になるとスタンバイ状態での消費電力が増加します。

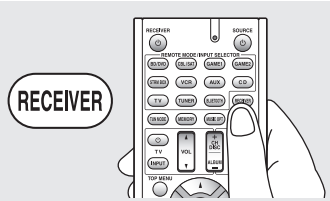
ARC（Audio Return Channel）

ARC機能対応のテレビとHDMIケーブル1本のみで接続して、テレビの音声信号を本機と接続したスピーカーで聴くことができます。先のHDMI CEC (RIHD)設定を「オン」にすると、「Audio Return Channel」の設定が自動的に有効になります。

接続する再生機器の音声出力について
Dolby DigitalやDTS などのデジタルサラウンド音声を楽しむためには、接続したブルーレイディスクプレーヤーなどの音声出力を「ビットストリーム出力」に設定する必要があります。また、ブルーレイディスクプレーヤーの設定によっては、Dolby TrueHDやDTS-HD Master Audioの音声が音源どおりのフォーマットで出力されないことがあります。その場合は、ブルーレイディスクプレーヤーの設定で、「BDビデオ副音声」(またはセカンダリ音声) 機能を「切」にしてお試しください。設定を変更したあとは、リスニングモードを切り換えてご確認ください。

Step 3: 再生する

1 基本操作



●本機を操作するときは：本機のリモコンには、他の機器を操作するためのリモートモード機能が備わっています。リモートモードがRECEIVERモード(本機を操作するモード)以外の状態では、本機を操作できないので、本機を操作する際は、必ず⑩RECEIVERボタンを押してRECEIVERモードにしてから操作してください。

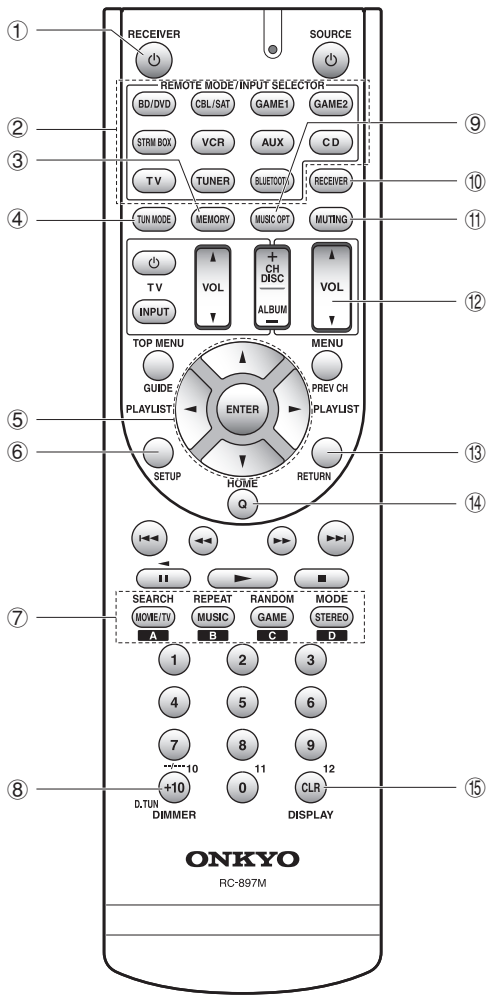
1. 電源を入れる
リモコンの①⏻RECEIVERボタンを押して電源を入れます。
- テレビの入力を本機と接続した入力に切り換えることが必要です。テレビのリモコンを使用して行ってください。

2. 本機の入力切換を選ぶ
視聴する再生機器を接続した②INPUT SELECTORボタンを押してください。なお、テレビの音声を聴くにはTVボタンを押します。本体の入力切換ボタンでも操作が可能です。
- 本機とHDMI 接続したCEC対応テレビや再生機器とは入力切換が自動で行われます。

3. お好みのリスニングモードを選ぶ
⑩RECEIVERボタンを押したあと、⑦リスニングモードボタンを押すことでモードが切り換わり、さまざまなリスニングモードをお楽しみいただけます。

4. ⑫ボリュームボタンで音量を調整する

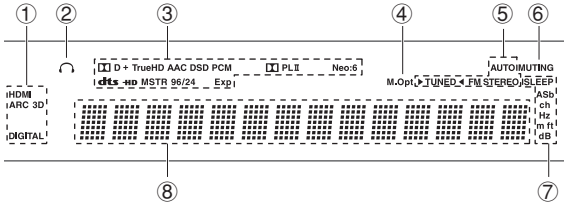
リモコンの各部の名称とはたらき



① ⏻**RECEIVERボタン**：電源のオン/スタンバイを切り換えます。
② **REMOTE MODE/INPUT SELECTORボタン**：再生する入力を切り換えます。また、任意のボタンに特定のリモコンコードを登録したうえで、そのボタンを押すと、他機器を操作するリモートモードに切り換えることができます。
③ **MEMORYボタン**：放送局を登録するときに使用します。
④ **TUN MODEボタン**：選局モードを切り換えるときに使用します。
⑤ **カーソル、ENTERボタン**：カーソルの移動や確定に使用します。
⑥ **SETUPボタン**：本機の各種設定項目画面を表示します。
⑦ **リスニングモードボタン**：リスニングモードを選びます。
MOVIE/TVボタン：映画やテレビを楽しむのに適したリスニングモードが選べます。
MUSICボタン：音楽を楽しむのに適したリスニングモードが選べます。
GAMEボタン：ゲームを楽しむのに適したリスニングモードが選べます。
STEREOボタン：ステレオおよびオールチャンネルステレオのリスニングモードが選べます。
- リスニングモードの詳細は、WEB詳細ガイドでご覧いただけます。

⑧ **DIMMERボタン**：表示部の明るさを切り換えます。
⑨ **MUSIC OPTボタン**：圧縮された音声をより良い音質にするミュージックオプティマイザーをオン/オフします。
⑩ **RECEIVERボタン**：リモコンを、本機を操作するモードに切り換えます
⑪ **MUTINGボタン**：一時的に消音します。もう一度押すと消音状態を解除できます。
⑫ **ボリュームボタン**：音量を調整します。本機が消音状態のときは、消音状態を解除できます。
⑬ **RETURNボタン**：設定中にひとつ前の表示に戻します。
⑭ **Qボタン**：音質の調整など、よく利用する設定項目にすばやくアクセスできるQuick Setupメニューが表示されます。
⑮ **DISPLAYボタン**：表示部の情報を切り換えます。

表示部



① 次の状態のときに点灯します。「HDMI」:HDMI信号が入力かつ選択されているとき。HDMIスタンバイスルー機能が有効に設定され、かつ本機がスタンバイ状態のときはうす暗く点灯します。/「ARC」:ARC対応テレビからの音声信号が入力かつ選択されているとき/「3D」:入力信号が3Dのとき/「DIGITAL」:デジタル信号が入力かつ選択されているとき

② ヘッドホンを接続時に点灯します。

③ 入力されているデジタル信号の種類やリスニングモードに応じて点灯します。

④ ミュージックオプティマイザーが有効に設定されているときに点灯します。

⑤ 次の状態のときに点灯します。「AUTO」:選局モードがオートのとき/「▶TUNED◀」:AM/FM放送局の受信時。放送局を自動的に探しているときは、▶◀が点滅します。/「FM STEREO」:FM ステレオ局の受信時

⑥ 「MUTING」:ミューティングモードのときに点滅します。

⑦ 次の状態のときに点灯します。「SLEEP」:スリープタイマーが設定されているとき。スタンバイ時のSTRM BOXへの電源供給機能が有効に設定され、かつ本機がスタンバイ状態のときにうす暗く点灯します。/「ASb」:自動スタンバイが設定されているとき/「ch」:チャンネルの設定時/「Hz」:クロスオーバー周波数の設定時/「m/ft」:スピーカー距離の設定時/「dB」:スピーカー音量の設定時

⑧ 入力信号のさまざまな情報を表示します。DISPLAYボタンを押すと、入力されている信号のフォーマットやリスニングモードなどを表示します。

2 Bluetooth®

スマートフォンなどBluetooth対応機器の音楽ファイルをワイヤレスで楽しむことができます。約15メートル圏内で通信できます。

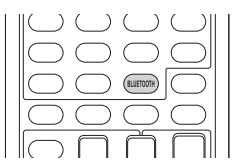
- Bluetooth対応機器がA2DPプロファイルをサポートしている必要があります。
- SCMS-Tコンテンツ保護方式に対応しています。
- すべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証するものではありません。

■ ペアリングする

Bluetooth対応機器と接続するには、はじめに1回だけペアリングを行う必要があります。事前にBluetooth対応機器の「Bluetooth設定機能を有効(オン)にする方法」および「対応機器と接続する方法」の操作手順をお調べください。

1. リモコンのBLUETOOTHボタンを押す

ペアリングモードになり表示部に“Now Pairing...”が表示されます。



2. 表示部に「Now Pairing...」が点灯している間に、近接した距離でBluetooth対応機器の接続操作を約1分以内に行う

Bluetooth対応機器の画面などで本機の名称が表示されたら、本機を選んでください。しばらくするとペアリングが完了します。

- パスワードを要求された場合、「0000」を入力してください。
- 別のBluetooth対応機器と接続する場合は、表示部に「Now Pairing...」が点灯するまでBLUETOOTHボタンを長押しするとペアリングができます。本機は最大8台のペアリング情報を記憶できます。

■ Bluetoothの音声を再生する

本機の電源がオンの状態のとき、Bluetooth対応機器の接続操作を行うと、自動的に「BLUETOOTH」入力切換が選ばれます。この状態で音楽ファイルを再生してください。
本機のリモコンでの操作方法はWEB詳細ガイドでご覧いただけます。

- Bluetooth対応機器のボリューム設定が小さいと、本機から音声が出力されません。
- Bluetoothワイヤレス技術の特性上、本機での再生音はBluetooth対応機器での再生音と比べてやや遅れることがあります。
- 本体表示部にはBluetooth対応機器名が表示されますが、日本語の表示には対応しておりません。表示できない文字はアスタリスク(*)に置き換わります。

3 AM/FM 放送

基本操作マニュアルでは自動選局による操作方法を紹介しています。手動での選局方法などはWEB詳細ガイドでご覧いただけます。

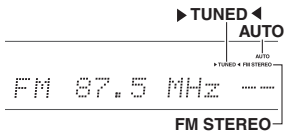
1. リモコンのTUNERボタンをくり返し押して、「AM」または「FM」を選ぶ

2. TUN MODEボタンを押して、表示部の「AUTO」を点灯させる

3. カーソル▲/▼ボタンを押す

自動選局が始まり、放送局が見つかると自動的に停止します。放送局を受信すると、表示部の「►TUNED◄」が点灯します。FMステレオ局の場合は、「FM STEREO」が点灯します。

- 本体の▼TUNING▲ボタンを押して選ぶこともできます。



放送局を登録する:お好きなAM/FM放送局を最大40局まで登録できます。

1. 登録したいAM/FM放送局を受信します。

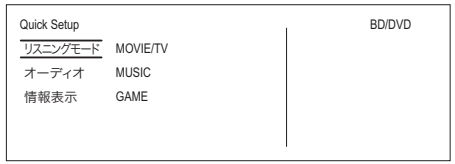
2. リモコンのMEMORYボタンを押して、表示部のプリセット番号を点滅させます。
3. プリセット番号が点滅している間（約8秒間）に、CH ＋/－ボタンをくり返し押して1～40の間で番号を選びます。
   • 本体の◄PRESET►ボタンを押して選ぶこともできます。
4. 再度MEMORYボタンを押して登録します。
   登録されるとプリセット番号の点滅が止まります。登録したプリセット局を選ぶには、本体の◄PRESET►ボタンまたはリモコンのCH ＋/－ボタンを押します。

• 登録したプリセット局を削除するには、削除したいプリセット局を選んだあと、リモコンのMEMORYボタンを押して表示部のプリセット番号を点滅させた状態でリモコンのCLRボタンを押します。
• 本機のFMチューナーは、76.0～95.0 MHzの周波数に対応しており、FM補完放送を受信することができます。

4 Quick Setup メニュー

再生しながらテレビ画面でよく利用する設定を行うことができます。

1. リモコンのQボタンを押す
接続したテレビ画面にQuick Setupメニューが表示されます。



2. リモコンのカーソルで項目を選び、ENTERボタンを押す
• ひとつ前の画面に戻るにはRETURNボタンを押します。

3. リモコンのカーソルで内容を選ぶ

■ **リスニングモード**：「MOVIE/TV」、「MUSIC」、「GAME」カテゴリーのリスニングモードを選ぶことができます。リスニングモードを選んだあとは、ENTERボタンで決定します。
• 音声をテレビのスピーカーで聴いているときは設定できません。

■ **オーディオ**：音質やスピーカーレベルの調整などさまざまな音声設定を変更できます。
• 音声をテレビのスピーカーで聴いているときはこの設定を選べません。

低域、高域：フロントスピーカーの音質を調整できます。
• リスニングモードがDirectのときは、設定できません。

Phase Matching Bass：中音域での位相ずれを抑えて低音を増強します。滑らかで、かつパワフルな低音域再生を実現します。
• リスニングモードがDirectのときは、設定できません。

センター、サブウーファー：音声を聴きながら、スピーカーレベルを調整できます。調整した内容は、本機をスタンバイ状態にすると設定前の内容に戻ります。
• スピーカーの設定によっては、調整できない場合があります。
• ミュート（消音）中やヘッドホン使用時は設定できません。

A/Vシンク：映像が音声より遅れている場合、音声を遅らせて映像と音声のずれを調整できます。各入力切換に個別に設定することができます。
• リスニングモードがDirectのときは、設定できません。

Music Optimizer：圧縮された音声をより良い音質にします。MP3などの非可逆圧縮ファイルの再生時に効果があります。この設定は、各入力切換ごとに行えます。
• サンプリング周波数が48 kHz以下の信号に働きます。ビットストリーム信号は効果がありません。
• リスニングモードがDirectのときは、設定できません。

レイトナイト：小さな音でも細かな音が聴こえやすくなる機能です。夜中などに音量を絞って映画を鑑賞するときに便利です。Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHDの入力信号再生時のみに効果があります。
• 本機をスタンバイ状態にすると「オフ」に設定されます。Dolby TrueHDの場合は「自動」に設定されます。
• 「Loudness Management」を「オフ」に設定し、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHDを再生している場合、この機能を使用することはできません。

シネマフィルター：高音域が強調されたサウンドトラックをホームシアター用に補正します。
• この機能が使用できるリスニングモードは、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby PLII Movie、Dolby TrueHD、Multichannel、DTS、DTS Neo:6 Cinema、DTS 96/24、DTS-HD High Resolution Audio、DTS-HD Master Audio、DTS Express、DSD、AACです。

■ **情報表示**：

オーディオ：音声の入力、フォーマット、チャンネル数、サンプリング周波数、リスニングモード、出力チャンネル数などを表示できます。

ビデオ：映像の入力、解像度、信号形式、色階調、3D情報、画面アスペクト比、出力などを表示できます。

チューナー：バンド、周波数、プリセット番号などを表示できます。入力切換が「TUNER」のときのみ表示されます。

5 その他の便利な機能

音質を調整する

フロントスピーカーの低音域や高音域を強調したり、弱めたりすることができます。本体のTONEボタンを繰り返し押して、「Bass」、「Treble」、「Phase Matching Bass」から調整したい内容を選び、+/−ボタンで調整してください。

- リスニングモードがDirectのときは、設定できません。

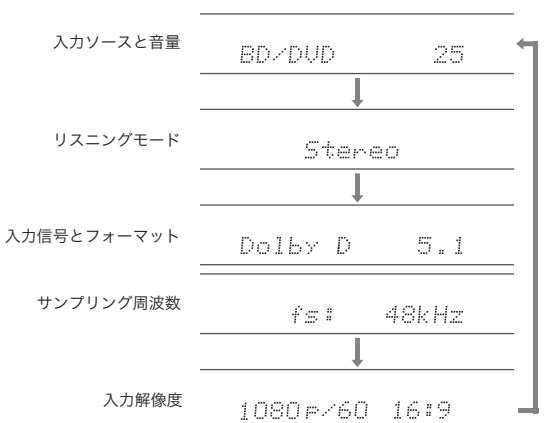
「Bass」：低音域を強調したり、弱めたりすることができます。

「Treble」：高音域を強調したり、弱めたりすることができます。

「Phase Matching Bass」：クリアーな中音域を維持しながら、低音域を効果的に強調することができます。

入力フォーマットを確かめる

リモコンのDISPLAYボタンをくり返し押すと、本体表示部が次の順に切り換わります。



- フォーマットの表示で「Dolby D 5.1」が表示された場合は、Dolby Digital 5.1chの信号が入力していることを示します。また、AM/FM放送を聴いているときは、バンド、周波数、プリセット番号が表示されます。
- 入力信号がAACの音声多重放送（2ヶ国語放送など）の場合、サンプリング周波数は表示されません。音声の数（「1+1」など）が表示されます。

異なるソースの音声と映像を再生する

CDプレーヤーの音声に合わせてブルーレイディスク/DVDプレーヤーの映像を再生するなど、異なるソースの音声と映像を再生することができます。この場合は、BD/DVDボタンを押したあと、CDボタンを押します。このあとで、ブルーレイディスク/DVDプレーヤーとCDプレーヤーを再生します。この機能は音声のみの入力切換（CD、TUNER、BLUETOOTH）を選んだときに有効です。

その他

困ったときは

はじめにお読みください
トラブルは接続や設定、操作方法を見直す以外にも、電源のオン/オフ、電源コードの抜き差しで改善することがあります。本機や接続している機器の両方でお試しください。また、映像や音声が出ない、HDMI連動ができないなどの場合、接続しているHDMIケーブルの抜き差しを行うと改善することもあります。差し直す際は、HDMIケーブルが巻かれていると接触が悪くなりますので、なるべく巻かずに差し直してください。差し直したあとは、本機と接続している機器の電源を一度オフにし、再度電源を入れ直してください。

本機の電源が切れる
- 自動スタンバイまたはスリープタイマーが作動すると、自動的にスタンバイ状態になります。
- 保護回路機能が作動した可能性があります。この場合、再度電源を入れると本体表示部に「AMP Diag Mode」と表示され、本機に異常がないかを診断するモードになります。その結果、問題がない場合は表示部の「AMP Diag Mode」が消えて正常にお使いいただける状態になります。表示部に「CHECK SP WIRE」と表示された場合は、スピーカーコードがショートしている可能性があります。スピーカーコードの芯線が別のスピーカーコードの芯線や後面パネルと接触していないかを確認し、再度電源を入れてください。「NG」と表示された場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜き、オンキヨーの販売店にお問い合わせください。

音声が出力されない/小さい
- 入力切換ボタンが正しく選ばれていないことがあります。再生機器の入力を選んでください。また、リモコンのMUTINGボタンを押していないかご確認ください。
- リスニングモードによっては、音声が出力されないスピーカーがあります。

映像が出ない/乱れる
- 入力切換ボタンが正しく選ばれていないことがあります。
- 本機の電源がスタンバイ状態の場合、接続した再生機器の映像をテレビに映し出すにはHDMIスタンバイスルー機能を有効にする必要があります。
- テレビの映像が乱れる場合は、本機の電源ケーブルや接続ケーブルが干渉している場合があります。テレビのアンテナ線と本機のケーブル類を離してお試しください。

映像と音声にずれがある
- お使いのテレビの設定や接続環境などによっては、映像が音声より遅れて表示されることがあります。「Step 3:再生する」の「4 Quick Setupメニュー」の「A/Vシンク」で調整してください。

デジタルサラウンド再生できない
- Dolby DigitalやDTSなどのデジタルサラウンド音声を楽しむためには、接続したブルーレイディスクプレーヤーなどの音声出力を「ビットストリーム出力」に設定する必要があります。

音声が音源どおりのフォーマットで出力されない
- Dolby TrueHDやDTS-HD Master Audioなどの音声が音源どおりのフォーマットで出力されない場合、接続したブルーレイディスクプレーヤーなどの設定で、「BDビデオ副音声」(またはセカンダリ音声) 機能を「切」にしてお試しください。設定を変更したあとは、各ソース用のリスニングモードに切り換えてご確認ください。

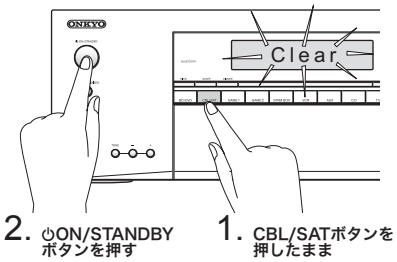
HDMIコントロール機能がうまく働かない
- 本機のCECの連動機能をオンにする必要があります。また、テレビもHDMI 連動の設定が必要です。テレビの取扱説明書などをご参照ください。

■ 初期設定に戻す

本機をリセットして、すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すことで、トラブルが解消されることがあります。「困ったときは」の各項目をお試しになっても改善されない場合、次の手順で本機をリセットしてみてください。なお、リセットを行うとお客様の設定内容が初期設定に戻ります。リセットの前に設定内容をメモなどに記録してください。

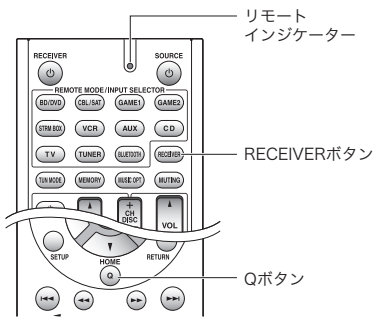
●リセット方法:

1. **本体のCBL/SATボタンを押しながら(必ず押した状態で2.の操作を行ってください)**
2. **本体の⏻ON/STANDBYボタンを押す(表示部に「Clear」が表示されてスタンバイ状態に戻ります)**
   - 表示部から「Clear」が消えるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。



●リモコンのリセット方法:

1. **リモコンのRECEIVERボタンを押しながら、リモートインジケーターが点灯するまでQボタンを3秒以上押す**
2. **30秒以内にRECEIVERボタンをもう一度押すとリセットされる**



主な仕様

アンプ(音声)部

定格出力
　100 W × 5 ch(1 kHz、全高調波歪率 0.7%以下、6 Ω、非同時駆動、JEITA)
　65 W × 5 ch(20 Hz - 20 kHz、全高調波歪率 0.7%以下、8 Ω、2ch駆動時、JEITA)
実用最大出力
　130 W × 5 ch(1 kHz、6 Ω、非同時駆動、JEITA)
ダイナミックパワー(∗)
　∗ IEC60268-Short-term maximum output power
　160 W(3 Ω、Front)
　125 W(4 Ω、Front)
　85 W(8 Ω、Front)
総合ひずみ率
　0.08%(20 Hz - 20 kHz、ハーフパワー)
入力感度/インピーダンス
　200 mV/47 kΩ(LINE、1 kHz 100 W/8 Ω)
RCA定格出力電圧/インピーダンス
　1 V/470 Ω(SUBWOOFER PRE OUT)
周波数特性
　10 Hz - 100 kHz/+1 dB、–3 dB(Directモード)
トーンコントロール最大変化量
　±10 dB、20 Hz(BASS)
　±10 dB、20 kHz(TREBLE)
SN比
　100 dB(LINE、IHF-A)
スピーカー適応インピーダンス
　6 Ω - 16 Ω

映像部

信号レベル
　1.0 Vp-p/75 Ω(コンポーネントY)
　0.7 Vp-p/75 Ω(コンポーネントPb/Cb、Pr/Cr)
　1.0 Vp-p/75 Ω(コンポジット)
コンポーネント映像最大対応解像度
　480i/576i

AM/FMチューナー部

FM受信範囲
　76.0 MHz - 95.0 MHz
AM受信範囲
　522 kHz - 1629 kHz
プリセットチャンネル数
　40

Bluetooth部

通信システム
　Bluetoothバージョン 2.1 +EDR(Enhanced Data Rate)
最大通信範囲見通し線
　約15 m(∗)
周波数帯域
　2.4 GHz帯域
変調方式
　FHSS(周波数ホッピングスペクトラム拡散)
対応プロファイル
　A2DP 1.3(Advanced Audio Distribution Profile)
　AVRCP 1.5(Audio Video Remote Control Profile)
対応コーデック
　SBC
伝送範囲(A2DP)
　20 Hz - 20,000 Hz(サンプリング周波数44.1 kHz)
∗ 実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。

総合

電源・電圧
　AC100 V・50/60 Hz
消費電力
　250 W
　0.1 W(待機時)
　50 W(無音時)
最大外形寸法
　435(幅)×160(高さ)×328(奥行)mm
質量
　7.8 kg

• HDMI

入力
　BD/DVD、CBL/SAT、GAME 1、STRM BOX
出力
　HDMI OUT(to TV)
映像解像度
　4K 60 Hz(RGB/YCbCr 4:4:4/YCbCr 4:2:2、24 bit)
音声形式
　Dolby TrueHD、Dolby Digital Plus、Dolby Digital、DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio、DTS 96/24、DTS、DTS Express、MPEG-2 AAC、DSD、Multichannel PCM(上限8チャンネル)
対応
　3D、オーディオリターンチャンネル、ディープカラー、x.v.Color™、リップシンク、CEC、4K、対応カラー(sYCC601、Adobe RGB、Adobe YCC601)、コンテントタイプ、3Dデュアルビュー、21:9アスペクト比

• 映像入力

コンポーネント
　COMPONENT VIDEO(BD/DVD、GAME 2)
コンポジット
　VIDEO(CBL/SAT、VCR)、AUX INPUT VIDEO(前面)

• 音声入力

デジタル
　OPTICAL(CD、TV)
　DIGITAL AUDIO(BD/DVD)
アナログ
　AUDIO(BD/DVD、CBL/SAT、GAME 2、VCR、CD、TV)
　AUX INPUT(前面)

• 音声出力

アナログ
　Pre Out(SUBWOOFER)
スピーカー
　FRONT L/R、CENTER、SURROUND L/R
ヘッドフォン
　PHONES(前面、ø 6.3)

• その他

RI REMOTE CONTROL　1
STRM BOX POWER OUT　1(5 V/1 A)

マルチ言語画面表示(OSD)対応
　日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、オランダ語、スウェーデン語

※仕様および外観は予告なく変更することがあります。

解像度一覧

入力信号に対して、本機の出力する映像信号の種類と解像度は下記の表をご参照ください

入力 ＼ 出力		HDMI						
		4K	1080p/24	1080p	1080i	720p	480p	480i
HDMI	4K	○						
	1080p/24		○					
	1080p			○				
	1080i				○			
	720p					○		
	480p						○	
	480i							○
コンポーネント	1080p							
	1080i							
	720p							
	480p							
	480i							○
コンポジット	480i							○

HDMI対応解像度

入力対応	コンテンツ保護技術	表示解像度	フレームレート	カラースペース	色深度	備考
HDMI入力 (BD/DVD、CBL/SAT、GAME1、STRM BOX)	HDCP1.4 HDCP2.2	720×480i	60Hz	RGB/ YCbCr4:4:4/ YCbCr4:2:2	8/10/12/16bit	YCbCr4:2:2の場合、色深度は12bitのみの対応となります。
		720×480p	60Hz			
		1920×1080i	50/60Hz			
		1280×720p	24/25/30/50/60Hz			
		1680×720p	24/25/30/50/60Hz			
		1920×1080p	24/25/30/50/60Hz			
		2560×1080p	24/25/30/50/60Hz			
		4K (3840×2160p)	24/25/30Hz	RGB/ YCbCr4:4:4/ YCbCr4:2:2	8/10/12/16bit	YCbCr4:2:2の場合、色深度は12bitのみの対応となります。
			50/60Hz	RGB/ YCbCr4:4:4	8bit	
				YCbCr4:2:2	12bit	
				YCbCr4:2:0	8/10/12/16bit	
		4K SMPTE (4096×2160p)	24/25/30Hz	RGB/ YCbCr4:4:4/ YCbCr4:2:2	8/10/12/16bit	YCbCr4:2:2の場合、色深度は12bitのみの対応となります。
			50/60Hz	RGB/ YCbCr4:4:4	8bit	
				YCbCr4:2:2	12bit	
				YCbCr4:2:0	8/10/12/16bit	

ライセンスと商標について

Manufactured under license from Dolby Laboratories. Dolby, Pro Logic and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.

For DTS patents, see http://patents.dts.com. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, DTS-HD, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

“Theater-Dimensional”及び“Theater-Dimensional (ロゴ)”は、オンキヨー株式会社の商標又は登録商標です。

“CINEMA FILTER”及び “CINEMA FILTER (ロゴ)”は、オンキヨー株式会社の商標です。

“RIHD”及び“RIHD (ロゴ)”は、オンキヨー株式会社の商標又は登録商標です。

The terms HDMI and HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC in the United States and other countries.

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、オンキヨー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
すべてのBluetooth機能対応製品とのワイヤレス通信を保証するものではありません。本機とBluetooth対応機器との互換性については、各Bluetooth対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、または販売店にお問い合わせください。
一部の国では、Bluetooth対応機器の使用が制限されている場合があります。
Bluetooth対応機器の使用については、お住まいの各自治体にお問い合わせください。

Apple, iPod and iPhone are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
Apple TV is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

"x.v.Color" and "x.v.Color" logo are trademarks of Sony Corporation.

DSDおよびDirect Stream Digitalロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。

“Music Optimizer”及び “WRAT”は、オンキヨー株式会社の商標です。

その他記載された会社名、製品名などは該当する各社の商標または登録商標です。

音のエチケット
楽しい映画や音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

販売店の「長期保証」制度にご加入の場合は：保証の手続き上、お買い上げになった販売店様での受付けが必要となります。長期保証期間内の製品は、店頭への修理品持込みをお願いいたします。

■ お電話による故障判定と、修理受付け

- 意外な操作ミスが故障と思われています。お問い合わせの前に取扱説明書をもう一度お調べください。
  また弊社ホームページサポート情報にもトラブル解決のFAQ を掲載していますので、ご参照ください。

オンキヨーオーディオコールセンター
050-3161-9555

（受付時間：10:00～18:00 土・日・祝日および弊社で定める休業日を除きます）

- 製品操作のご案内、リモコン等付属パーツのご要望、その他ご不明な点についても受付けております。
- スムーズな対応のため、お問い合わせの前に以下の情報をお調べください。
  - 製品の型番
  - 接続している他機器
  - できるだけ詳しい不具合状況
  - ご購入店名
  - ご購入年月日

■ メールによる修理お申込み

http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm
からお申込みいただけます。

■ お近くの修理拠点へ持込みをご希望の場合は

下記のURL に全国の修理拠点の案内がございます。
http://www.jp.onkyo.com/support/servicebase.htm

保証書について

保証書の記載事項をご確認ください。また、所定事項をご記入いただき大切に保管してください。保証期間内に万一、故障や異常が生じたときは、保証書をご用意のうえ、上記相談窓口にご相談ください。

保証期間終了後の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

本機の補修用性能部品は、製造打ち切り後、最大8 年間保有しています。保有期間経過後でも故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、ご相談ください。

付属品

FM室内アンテナ…(1)

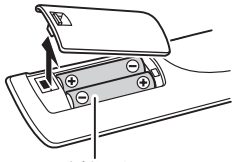
AM室内アンテナ…(1)

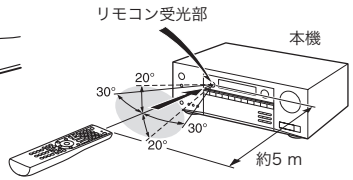
リモコン(RC-897M)…(1)
乾電池(単3形、R6)…(2)

保証書…(1)

＊( )内の数字は数量を表しています。包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す識別記号です。

リモコンの使い方





＊長期間リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために、電池を取り出しておいてください。
＊消耗した電池を入れたままにしておきますと、腐食によりリモコンをいためることがあります。

ONKYO

オンキヨー株式会社
〒541-0041　大阪市中央区北浜二丁目2番22号 北浜中央ビル

製品のご使用方法についてのお問い合わせ先：
オンキヨーオーディオコールセンター
☎ 050-3161-9555（受付時間　10：00～18：00（土･日･祝日･弊社の定める休業日を除きます））

サポートのご案内、オンラインユーザー登録（＊）：http://www.jp.onkyo.com/support/
（＊）ユーザーの皆様により快適な製品サービスを提供するために、オンラインユーザー登録を行っています。
Eメールによる製品サポート情報や製品関連情報のお届け、ONKYO DIRECTオンラインショップからの情報メールのご案内などのサービスをご利用いただくことができます。
（ご登録いただいたお客様情報は、オンキヨーのサービス以外の目的で使用されることはありません）

F1502-0

SN 29401964
(C) Copyright 2015 Onkyo Corporation Japan. All rights reserved.
Onkyo has the Privacy Policy. You can review it at [http://www.onkyo.com/privacy/] / [http://www.jp.onkyo.com/riyoukiyaku.htm#kojinjyouhouhogo].

* 2 9 4 0 1 9 6 4 *